



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場会社名 株式会社アゴラ・ホスピタリティ・グループ 上場取引所 東
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹 (TEL) 03(3436)1860
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	1,507	197.2	△67	—	△103	—	△81	—
23年12月期第2四半期	507	△3.4	△73	—	△65	—	△75	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △6,003百万円(—%) 23年12月期第2四半期 1,291百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△0 30	—
23年12月期第2四半期	△0 34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	16,793	13,448	80.0
23年12月期	17,026	13,486	78.9

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 13,427百万円 23年12月期 13,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年12月期	—	0 00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 平成24年12月期末の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	98.1	82	—	105	—	62	—	0 25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年12月期 2 Q	274,158,934株	23年12月期	274,158,934株
24年12月期 2 Q	158,764株	23年12月期	155,587株
24年12月期 2 Q	274,001,844株	23年12月期 2 Q	219,312,436株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災からの復興の動きに合わせ緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州金融危機や円高の長期化により、依然として国内企業の業績悪化が懸念される状況が続きました。

当社グループにおきましては、宿泊事業において、昨年9月に守口ロイヤルパインズホテルを運営管理する株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪を連結子会社化したこと等により、前年同四半期比で大幅な増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は1,507百万円（前年同四半期比197.2%増）と大幅に増加したものの、利益面では、一部宿泊事業所における改装工事の実施や季節波動の影響等により、営業損失が67百万円（前年同四半期は営業損失73百万円）となりました。また、営業外費用に豪州の持分法適用関連会社における退職者向け住宅の開発遅れと広告宣伝費等の先行投資を要因とする投資損失45百万円を計上したことにより、経常損失は103百万円（前年同四半期は経常損失65百万円）、特別利益に既発新株予約権の一部消却に伴う戻入益等を計上したことにより、四半期純損失は81百万円（前年同四半期は四半期純損失75百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、前期に株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪および株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズ、株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント野尻湖を連結子会社化したことにより、売上高は1,127百万円（前年同四半期比664.0%増）と大幅な増加となりましたが、利益面では、震災の影響が一巡したことにより各宿泊施設の利用者数が引続き回復基調にあるものの、当社グループで運営管理する守口ロイヤルパインズホテル(本年8月1日「ホテル・アゴーラ大阪守口」としてリニューアルオープン)および浅草ビスタホテル(本年7月27日「アゴーラ・プレイス浅草」としてリニューアルオープン)において改装工事による一部営業施設の休止や、一部宿泊事業所における季節波動の影響により、営業損失が59百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き適宜適切な賃貸家賃の見直しによる入居率の維持向上に努めた結果、震災後低迷した入居率は震災前とほぼ同水準にまで回復し、売上高は150百万円（前年同四半期比8.9%増）となり、営業利益は75百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、受注ベースで前年同四半期比25%を上回る販売がありましたが完成工事引渡しの期ずれにより売上高は204百万円（前年同四半期比7.1%減）となり、利益面では、保有資産に係る公租公課の発生等があったものの、営業利益は4百万円（前年同四半期比82.5%減）と、引続き利益を確保することができました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、当社グループが保有・運用する香港ドル、人民元、米ドル建て資産等に係る為替差益が発生したことなどにより、営業利益は25百万円（前年同四半期比1,720.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、16,793百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、8,835百万円となりました。これは、現金及び預金が518百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し7,957百万円となりました。これは、投資有価証券が294百万円、長期貸付金が32百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、3,344百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.1%減少し、3,178百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が60百万円、未払金が55百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて26.0%減少し、166百万円となりました。これは、長期借入金が57百万円減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、13,448百万円となりました。これは、利益剰余金が81百万円、新株予約権が40百万円減少し、為替換算調整勘定が77百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ551百万円減少し、979百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は77百万円（前年同四半期は85百万円の支出）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純損失53百万円によるものであり、前年同四半期と比較して売上債権及び仕入債務が減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は357百万円（前年同四半期は674百万円の支出）となりました。

これは主に匿名組合出資金の払込みによる支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は113百万円（前年同四半期59百万円の支出）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年8月10日公表の「営業外収益の減少及び特別利益の計上並びに平成24年12月期第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ」(以下、修正予想)のとおり、平成24年2月13日に公表の平成24年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想を変更いたしました。詳細は同日発表の修正予想をご覧ください。

なお、通期業績予想については、下期の業績は変動要因が大きいため、現在のところ前回発表予想のとおりとさせていただきます。

今後、業績修正が必要となった場合には速やかに開示させていただきます。

平成24年12月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正
(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,550	1	△46	△66	△0円27銭
今回修正予想(B)	1,507	△67	△103	△81	△0円30銭
増減額(B-A)	△43	△68	△57	△15	
増減率(%)	△2.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	507	△73	△65	△75	△0円34銭

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,593,416	1,074,816
売掛金	202,812	104,565
有価証券	309,281	309,452
貯蔵品	37,222	27,745
開発事業等支出金	6,910,599	6,977,198
繰延税金資産	12,959	13,640
その他	331,938	331,694
貸倒引当金	△4,070	△3,578
流動資産合計	9,394,159	8,835,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	310,162	306,705
車両運搬具(純額)	4,555	3,368
工具、器具及び備品(純額)	16,582	17,711
土地	1,555,520	1,555,520
住宅用賃貸不動産(純額)	4,771,304	4,753,992
建設仮勘定	—	7,407
有形固定資産合計	6,658,124	6,644,706
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	226	212
ソフトウェア	1,962	1,287
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	7,552	6,864
投資その他の資産		
投資有価証券	520,399	815,082
長期貸付金	435,870	468,551
その他	14,823	26,759
貸倒引当金	△4,400	△4,200
投資その他の資産合計	966,693	1,306,192
固定資産合計	7,632,371	7,957,763
資産合計	17,026,530	16,793,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,048	112,172
1年内返済予定の長期借入金	2,432,921	2,372,667
未払金	463,774	408,223
未払費用	30,746	40,894
未払法人税等	62,868	44,351
賞与引当金	12,407	16,679
ポイント引当金	8,771	8,317
事務所移転費用引当金	4,000	—
その他	155,514	175,380
流動負債合計	3,316,052	3,178,686
固定負債		
長期借入金	148,471	90,920
退職給付引当金	2,979	3,064
長期預り保証金	33,301	31,421
繰延税金負債	1,587	2,714
その他	38,100	37,941
固定負債合計	224,440	166,063
負債合計	3,540,492	3,344,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	△177,722	△258,858
自己株式	△11,990	△12,060
株主資本合計	16,332,081	16,250,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,462	4,257
為替換算調整勘定	△2,904,733	△2,827,686
その他の包括利益累計額合計	△2,902,271	△2,823,428
新株予約権	56,226	16,202
少数株主持分	—	4,898
純資産合計	13,486,037	13,448,548
負債純資産合計	17,026,530	16,793,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	507,420	1,507,948
売上原価	413,734	1,329,714
売上総利益	93,685	178,233
販売費及び一般管理費	167,673	245,289
営業損失(△)	△73,987	△67,055
営業外収益		
受取利息	57	504
受取配当金	159	173
為替差益	41,564	4,461
持分法による投資利益	89	—
消費税等免税益	—	21,334
その他	2,592	4,656
営業外収益合計	44,463	31,131
営業外費用		
支払利息	21,420	21,752
持分法による投資損失	13,683	45,263
その他	913	964
営業外費用合計	36,017	67,980
経常損失(△)	△65,541	△103,905
特別利益		
受取補償金	—	2,814
新株予約権戻入益	476	47,952
固定資産売却益	11,653	—
特別利益合計	12,130	50,767
特別損失		
固定資産除却損	5	371
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,472	—
特別損失合計	1,477	371
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,888	△53,509
法人税、住民税及び事業税	20,277	32,017
法人税等調整額	—	△681
法人税等合計	20,277	31,336
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,165	△84,845
少数株主損失(△)	—	△3,710
四半期純損失(△)	△75,165	△81,135

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,165	△84,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△824	1,795
為替換算調整勘定	77,281	77,047
その他の包括利益合計	76,457	78,842
四半期包括利益	1,291	△6,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,291	△2,292
少数株主に係る四半期包括利益	—	△3,710

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,888	△53,509
減価償却費	35,674	37,519
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,380	△722
退職給付引当金の増減額(△は減少)	122	84
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	4,272
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	△453
その他の引当金の増減額(△は減少)	—	△4,000
受取利息及び受取配当金	△217	△678
支払利息	21,420	21,752
為替差損益(△は益)	2,581	△4,638
持分法による投資損益(△は益)	13,594	45,263
固定資産売却損益(△は益)	△11,653	—
のれん償却額	—	3,608
新株予約権戻入益	—	△47,952
売上債権の増減額(△は増加)	13,656	98,309
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△92,987	△171
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,209	9,476
開発事業支出金の増減額(△は増加)	34,575	12,751
預り保証金の増減額(△は減少)	30,150	—
仕入債務の増減額(△は減少)	1,187	△33,261
未払費用の増減額(△は減少)	△17,851	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△28,685	△13,995
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△8,326	△60,550
その他の固定資産の増減額(△は増加)	151	701
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	△5,253
その他	15,168	△34,786
小計	△44,497	△26,233
利息及び配当金の受取額	217	1,112
利息の支払額	△21,625	△21,991
法人税等の支払額	△19,946	△30,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	△85,852	△77,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△68,957	△23,103
有形固定資産の売却による収入	44,092	—
匿名組合出資金の払込による支出	—	△334,625
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△650,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△674,865	△357,730

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△59,651	△118,170
自己株式の取得による支出	△22	△70
配当金の支払額	△51	—
少数株主からの払込みによる収入	—	5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,725	△113,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,518	△3,055
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△822,961	△551,858
現金及び現金同等物の期首残高	1,256,452	1,531,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	433,490	979,996

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	147,535	138,011	220,461	1,412	507,420	—	507,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	147,535	138,011	220,461	1,412	507,420	—	507,420
セグメント利益又は損失 (△)	△56,396	69,119	26,450	1,412	40,586	△114,573	△73,987

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,573千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,127,187	150,262	204,782	25,715	1,507,948	—	1,507,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,127,187	150,262	204,782	25,715	1,507,948	—	1,507,948
セグメント利益又は損失 (△)	△59,119	75,992	4,629	25,715	47,218	△114,274	△67,055

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,274千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

リーガロイヤルホテル堺に係る事業譲受について

当社は、平成24年7月24日開催の取締役会において、当社の100%子会社である株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺をして、ブリヂストン・リーガ株式会社から、同社の運営するリーガロイヤルホテル堺の事業を譲受けさせることを決議しました。

(1) 当該連結子会社の名称、住所及び代表者の氏名

- ① 名称 株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺
- ② 住所 大阪府堺市堺区戎島町四丁45番地の1
- ③ 代表者の氏名 代表取締役浅生亜也

(2) 当該事業の譲受け先の名称、住所、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

- ① 名称 ブリヂストン・リーガ株式会社
- ② 住所 大阪府堺市堺区戎島町四丁45番地の1
- ③ 代表者の氏名 代表取締役福田一夫
- ④ 資本金の額 2,000百万円
- ⑤ 事業の内容 ホテル経営

(3) 当該事業の譲受けの目的

当社は、かねてより当社の主力事業である宿泊事業の一環としてホテル事業を拡充するとともに、当社の資産規模の更なる拡大を図ってまいりました。このたび、かかるホテル事業の拡充のために、ブリヂストン・リーガ株式会社から、同社の運営するリーガロイヤルホテル堺の事業を譲受けるものです。

(4) 当該事業の譲受けの内容

① 譲受け事業の内容

ブリヂストン・リーガ株式会社が営む事業の全部である、リーガロイヤルホテル堺（大阪府堺市）のホテル事業

② 譲受け事業の経営成績

	平成23年10月期
売上高	4,368百万円
売上総利益	3,247百万円
営業利益	△104百万円
経常利益	△139百万円

③ 譲受け事業の資産、負債（平成24年4月30日現在）

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額（百万円）	項 目	帳簿価額（百万円）
流動資産	801	流動負債	94
固定資産	100	固定負債	718
合 計	901	合 計	813

上記金額は、平成24年4月30日現在におけるブリヂストン・リーガ株式会社の当該事業に係る資産、負債の帳簿価額であります。事業譲渡の方法により譲受ける対象資産の取得にあたっては、平成24年10月1日（事業譲受予定期日）時点における時価にて取得する予定です。

④ 決済方法

決済方法は現金によります。

⑤ 譲受けの日程

取締役会決議 平成24年7月24日
 事業譲渡契約書の締結 平成24年7月24日
 事業譲受期日 平成24年10月1日（予定）